

山本さんからのメッセージ

代表取締役社長
山本 陽次

相応しい I T 企業を目指します！

お客さま、関係者の皆さまの日頃のご愛顧に、心より御礼を申し上げます。お蔭様で昨年は、J Bグループの一員として、5周年を迎えることができました。また、昨年4月に立ち上げました「環境ソリューション推進室」は、低炭素化を推進する実証事業プロジェクトの受注など、少しずつですが具体的な成果を上げることができました。更に、得意なソリューションを見える化し、お客さまへのご支援の精度を上げ、市制50周年を迎えた環境モデル都市・北九州市に拠点を置く I T 企業として、相応しい活動になるよう加速をさせて参ります。



5年前 (!?)

当「そるねっとつうしん」も、今回で第8号になりました。お伝えさせていただき内容も、範囲を広げていき、今後も、“継続することを第一に！”ではありますが、表現を纏める中で、振り返ることで、日々の活動精度の向上を図って参りたいと考えています。皆さまからのご意見、ご要望も、お待ちしております。

さて、スタートしました2013年度は、お客様への活動品質の向上を目指し、昨年までのソリューション事業とサービス（I T インフラ）事業を、お客様毎にワンチームに再編させていただきました。そして、医療ソリューション推進部を設置し、J Bグループと共に、電子カルテ、医事会計、地域連携、在宅医療など、医療ソリューションへの取り組みを、強化・推進して参ります。

社員ひとり一人のスキルアップ、お客様とのコミュニケーションを大切に、今年度も、“お客様の成功に貢献すること”を目指します。

何卒、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



北九州市環境首都検定で優秀賞受賞！

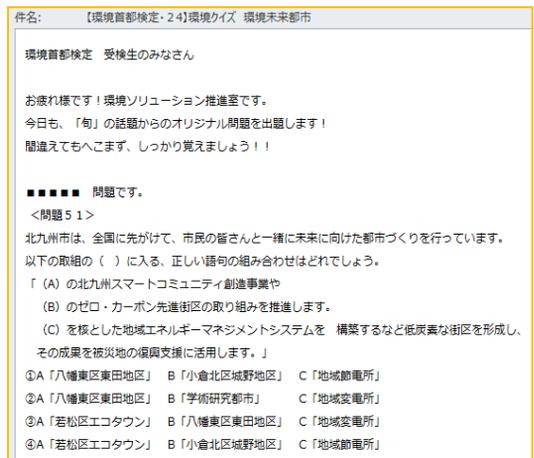
ソルネットが本社を置く北九州市は、「世界の環境首都」を目指して様々な取組みを行っていますが、その啓発活動のひとつに「北九州市環境首都検定」というご当地検定があります。ジュニア・一般・上級の3区分があり、老いも若きも挑戦できるようになっています。

今回弊社初の取組みとして、環境ソリューション推進室が幹事となり、受検希望者を募ったところ、なんと社員・家族合わせて100名の申込がありました！！

申込をした時点から受検までの間は、まさに「環境検定」ブーム！！検定の問題は、ごみ・リサイクル、公害克服の歴史、景観を守る活動、環境教育など多岐にわたっており、覚えるにもひと苦労です。

毎日昼休みの「環境クイズメール」に苦戦する人あれば、通勤途中で検定テキストをみっちり勉強する人あり、給湯室で人に会えば検定の話でもちきり・・・という状況でした。

そして迎えた受検当日、病気欠席のご家族2名を除く98名が参加した結果、なんと「**成績優秀賞**」「**受験者数優秀賞**」のW受賞となりました！



毎日のクイズメールで、やる気アップ!!



優秀賞で頂いた賞状

今回の検定を通じて、私達の暮らす北九州市がどのような取組みをしているのかについて広く学ぶことができ、今後北九州市の豊かな自然と経済発展がどのように共存していくべきかを考えることができました。

今後とも継続して環境に関する学習を行い、環境に貢献できるITのご提案を行います！

新たな息吹を感じて. . .

「皆さんの入社を心からお祝い申し上げます。」

2013年4月1日 弊社にて入社式を行い、3名の新たな仲間が加わりました。入社式の初めには厳かな雰囲気緊張した面持ちでしたが、山本さんの挨拶では、みんな笑顔で、目を輝かせて聞き入っていました。

この後彼ら3名は、JBグループ全体の入社式・新入社員研修に向かいました。JBグループでの研修を通じて様々な知識を身に付け、同期メンバーとの親睦を深め、7月に成長した姿で帰ってくるのを楽しみにしています。それでは早速、新しい仲間をご紹介します!!

Q1.星座(血液型) Q2.出身校(学部)
Q3.休日の過ごし方
Q4.学生時代に頑張っていたこと
Q5.ソルネット社員としての目標
Q6.私ってこんな人です!



橋本 成房 (はしもと ないふさ)

- A1. かに座(B型) A2. 下関市立大学(経済学部)
- A3. 家でのおんびりしたり、原付を走らせて評判の良い店に食事に行ったり、観光スポットを訪れたりしています。
- A4. 経済面での自立を目指し、お寿司の宅配ドライバーとして頑張りました。
- A5. 「橋本に任せれば大丈夫」と言われるような、信頼される社員が目標!
- A6. よく笑い、周囲も笑わせるようなユーモアがありますが、オンとオフの切り替えはしっかりやります!

池田 優希 (いけだ ゆうき)

- A1. うお座(A型) A2. 北九州市立大学(外国語学部英米学科)
- A3. 常に何かをしていないと気が済まず、一日のお休みでも、読書やジム、料理と内容は盛りだくさんです。
- A4. 人前に出る事や、ミスを見られることを「恥ずかしい」と思う自分が嫌だったので、英語のプレゼンに何度もチャレンジしました。
- A5. 何か得意分野を作って、頼られる社員になりたいです。
- A6. 人と競争することは大嫌い。だけど、自分に負けるのはもっと嫌い。

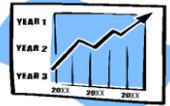


西住 幸夏 (にしずみ ゆか)

- A1. しし座(B型) A2. 熊本大学(文学部)
- A3. 思いつきでドライブに行きます。ただ、思いつきで出発してしまうので、目的のお店が定休日ということもしばしば...
- A4. バレーボール部での活動です。部員が少なく辛いこともありましたが、そこで出会った人や、得た経験は一生の宝物です。
- A5. ITの勉強だけでなく、イベントへの積極的な参加を通して活動を多角的に捉え、地域貢献できる人になりたいです。
- A6. 気持ちの切り替えが早いです。いつも前向きに頑張りたいと思います!



“ソルネット簿記”白熱教室



2013年2月 本社にて、経理財務（庄島・藤本）主催の簿記講座を開始しました。この講座は、昨年9月「MP式財務分解講座」を開催後、多くの社員から“一部の人だけでなく、より開放して受講させてほしい”という要望があり、簿記・財務知識取得に対する期待値が高いことから実施することとしました。

公募したところ、86名という申込み結果を得て驚きましたが、社員の関心の高さとやる気を改めて実感し、希望者全員を対象とした講座としました。

この社員の期待に応えるため、本講座の狙いを見直し、オリジナルのレジュメも数度再考するなどして、開講することにしました。

本講座は、以下の二部構成で毎回実施することとしました。

（1）簿記・財務知識取得

単なる簿記講座でなく、業務知識を得ることを重要視するため、勘定科目や財務諸表などは、ソルネットで実際に使っているものを利用することで、親近感のわく講座とする。

（2）NOWなトピックスを入れる

初回は、3月に3億円の増資を行いましたので、“増資の会計処理”について。2回目は、アベノミクスで消費税増税も現実味がでてきており、2013年度は消費税を意識した営業活動が重要ということで、“消費税”について。



第一回の講座の様子。たくさんの参加者です

講座は、長机1つを5人で囲み、人口密度の高い感じもありましたが、自然発生的にチームワークが形成され、各チームで協力しあって、我々講師のフォローも行ってもらうなど、一方的な受け身の講座でなく、まさに白熱した講座となりました。

これから1年、みなさんにわかりやすく楽しく簿記・財務の知識を伝えていくために、頑張りたいと思います。

（事業管理 経理財務）



講師の庄島（左）
と藤本（右）

地図データベースの知識と経験を活かして

皆さま、こんにちは！“お客さまプロジェクト支援チーム”の安藤です。

私たちは、株式会社ゼンリンさまに常駐させて頂き、地図データ作成業務におけるデータベース設計やフォーマット仕様設計などのご支援をさせて頂いております。

具体的な業務内容は各メンバーにより異なりますが、派遣先ではメンバー一人一人が弊社の代表であることを忘れず、お客さまとのコミュニケーションを大切にしています。そして「お客さまの視点で課題に取り組み、共に考え、お客さまに貢献する！」をモットーに日々活動しています。



左から大下、安藤、横山、桑野、岡田、竹中、田中

(地理情報ソリューション部 安藤 幸一)

■メンバー紹介



①職場での役割 ②今後の抱負を一言

桑野 顕 (福岡県出身)

- ① 地図DB整備システムの開発&運用支援
- ② 業務が円滑に進むようお客様とともに考え、また頼りにされるよう貢献したいと思います。

竹中 稔幸 (福岡県出身)

- ① ナビ商品データ作成ツールの仕様設計 (フォーマット変換技術支援)
- ② いないと困る「オンリーワン」の人材になります。

田中 幸一 (大分県出身)

- ① ナビ商品フォーマット企画・設計
- ② 『速く、綺麗に、正確に、頭は常にフル回転』をモットーに、お客様の成功の一助になれるよう、業務に取り組んで参ります。

岡田 章裕 (福岡県出身)

- ① ナビ商品検査の企画・設計
- ② お客様目線で常に最適な対応をおこなえるよう努力します。

横山 順郎 (大分県出身)

- ① ナビ商品向けデータベース設計
- ② 何がお客様のためかを常に考え、最善の行動となるように心がけ行動します。

安藤 幸一 (福岡県出身)

- ① ナビ商品向けデータベース設計
- ② お客様プロジェクトの成功の為に何をすべきか日々の考え、お客様から頼りにされるチーム作りを目指します。

大下 憲一 (福岡県出身)

- ① ナビ商品向けデータベース設計
- ② ご依頼内容の本来の目的は何かを常に考え、お客様の事業へ貢献出来るように業務へ取り組みます。

広がる、つながる、気づきに出会う

「受賞したんだね！よかった！」「おめでとう」「頑張った甲斐があったね」うれしいメールがあちこちから続々と届き、本当に胸が熱くなりました。今号で紹介した環境首都検定の表彰式の様子を報告した時のことです。

当初この検定は、環境ソリューション推進室のスキルアップとして、約20名で参加する予定でした。しかし全社員に案内したところ、市の取組みに興味のある人やスキルアップしたい人など、受検日が休日であるにも関わらず、100名もの希望者が集まり、検定担当の私はその予想を超える広がりには驚きました。

毎日“環境クイズメール”を配信すると、「面白くてメールが楽しみ」「お客様と環境ネタで話ができるようになった」など多くの感想が届きました。また受検後の今も「リサイクルよりリデュースの方がエコなんだよね」「この実証実験どこでやってるか知ってる？」と、環境の話題になることがよくあります。検定を通じて、環境に対する社員の関心がさらに高まり、それと同時に社員のつながりがいっそう深まっていることを感じます。

今回北九州市の環境に対する先進的な取組みについて学ぶ中で、弊社のお客様をはじめ北九州市をリードする企業の多くが、その得意技を活かし、重要な役割を担っているということに気づきました。

環境学習を継続して行い、活動をレベルアップすることで、そんなお客様の取組みをより確実にご支援できるようになりたいと、桜ほころぶ表彰式会場で心に誓いました。



(Y.N)

編集後記

“ソルネット簿記”。今まで触れることのない分野でしたが「知りたい!!」という気持ちが芽生え、期待を寄せて参加しました。基礎知識が一切無いため私にはととても難しいのですが、必死に講義を聞いていると、“会社の家計簿”をつけているような感覚と、次第に簿記の世界に引き込まれている自分に気がきました。

春は新生活が始まる季節。私は“簿記の道”を一步踏み出してみようと思います。(K.K)

